

(2) 調査研究計画

城郭全体を解明する継続的な調査研究の実施
資料と調査成果の収集・整理
岡崎城跡の調査研究を継続的に推進する体制の整備

(3) 保存修復計画

石垣、土塁の保存修復
遺構き損、景観阻害樹木への対応
史跡の追加指定



菅生川端石垣の発掘調査現地説明会

(4) 復元整備計画

史実に基づく復元（菅生曲輪、東曲輪切通し、菅生川端石垣等）

(5) 環境整備計画

城郭遺構を実感し回遊性を生む動線設定
岡崎城跡の価値を高める植栽管理
展示施設等（教養施設）のガイダンス機能の継続
サイン・案内板（便益施設）のデザインの統一・多様な来訪者へ対応した情報提供
その他の施設等について遺構の保存と歴史的景観の保全に配慮した施設整備
占用施設等について史跡の価値向上のための廃止・移転

(6) 公開活用計画

資料・データの公開活用
調査成果を活用した整備
歴史的名称の周知



本丸周辺の古写真（明治5年頃）

(7) 管理運営計画

史跡としての管理運営 継続性のある岡崎城跡の管理運営体制の整備

6 事業計画

(1) 短期事業計画

計画期間：平成 29 年度～平成 37 年度（「岡崎市歴史的風致維持向上計画」と連動）
発掘調査等史実を確認する調査事業を推進する。
岡崎城跡全体を分かりやすく顕在化する。
史跡と公園の関連施設の維持管理が円滑に運営できる管理運営体制をつくる。
専門家による「岡崎城跡整備委員会」を立ち上げ、整備事業の指導・進行管理を行う。

(2) 中長期事業計画

計画期間：概ね平成 38 年度～平成 57 年度
調査事業の成果による計画見直し 史跡にふさわしくない施設等の移転・廃止の継続
岡崎城の価値を顕在化する遺構表示・復元整備継続

「岡崎城跡整備基本計画 - 平成 28 年度改訂版 - 」 【概要版】

1 整備基本計画改訂の目的

岡崎城跡は、「史跡岡崎城跡整備基本計画」(平成 16 年 3 月)に基づき整備事業が実施されてきたが、岡崎城跡を取り巻く環境も変化し当時の景観を想起できる場所は分散している。平成 28 年度に市制施行 100 周年を迎え、「岡崎市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、これを機に、岡崎城跡の歴史文化資産としての価値をより高めるため、史跡指定範囲のみならず、近世の城下町を含めた総構え全体についても一体として整備を行う。

目的 史跡を未来へ確実に保存 本質的価値を顕在化
城下町である市街地へつなく 流れ(ストーリー)のある総構えの整備・活用

2 岡崎城跡の概要

(1) 岡崎城の特性

中世城館を核とし近世城郭の各時期の特徴が見られる城郭

徳川家康生誕の城・天下統一の足固めの城
対峙する勢力が入れ替わりながら
前代の特徴を包括し整備された城
現代に残る岡崎城ならではの城郭遺構
近世の大城郭維持と岡崎城下の繁栄
家康生誕城としての特性
水陸交通要衝地として近世の城下繁栄



清海堀の土塁と石垣

(2) 岡崎城跡の価値

城郭遺構等の城郭としての

本質的な価値を構成する要素
地形を活かし中世から近世にかけ完成された
複合的な縄張り
総構えをもつ広大な城郭規模

各時代の遺構と遺物等、

歴史的な重層性を構成する要素

各時代に構築された石垣
城郭規模等について良好な資料が存在
各時代の城郭遺構が遺存

都市公園等、

都市景観や現代的な利用に関する要素

市中心部の大規模な公共空間
市民に親しまれる近代公園
良好な都市景観の形成
市域の観光の中心的存在



岡崎城絵図（江戸後期）に見る縄張り



菅生川（乙川）の殿橋からの景観

3 保存管理計画

保存管理の基本方針

岡崎城跡の本質的価値である現存の城郭遺構を確実に保存し、後世へ継承する。現在の岡崎城跡を構成する諸要素を把握し、地区や状況に応じた適切な保存管理方法と現状変更等の取扱い基準を定める。

城郭全容を解明し本質的価値を明らかにするため、発掘調査・文献資料等の学術的な調査研究を継続的に行う。

都市公園としての役割にも配慮しつつ、岡崎城跡の価値を後世へ継承するための保存管理と、価値を顕在化し共有する整備活用の均衡を図り、総合的な価値の向上に努める。

4 整備基本方針

(1) 整備理念

岡崎城は、中世末期の築城時から近代に至るまで歴史や政治の舞台として岡崎のまちを形成してきた現在の都市の核であり、本市の歴史文化保護の象徴として位置づけ、将来に渡り確実にその価値を継承し保存していく。

岡崎城跡ならではの特性や価値を顕在化する城跡整備を目標に掲げる。その保存管理の方法を確立し、史跡保存の目的にかなった文化財活用整備を進めていく。総構え等の城郭遺構がもつ価値を史実に基づきわかりやすく示すことで、良質な都市空間を形成し、観光やまちづくり、文化財活用ネットワークの拠点として整備する。利用者に対し岡崎城跡の魅力の向上を行い、総じて市民に身近な存在で愛着のある整備を図る。

(2) 整備基本方針

調査研究

継続的な調査研究による岡崎城跡の全容の解明 資料の収集・整理

整備、活用

史実に基づく復元整備 城郭全体がわかる整備と回遊性の創出
資料・情報の公開活用の実施

史跡の保存、修復

城郭遺構の確実な保存 保存のための追加指定 公開活用に資する保存修復

環境整備

史跡と都市公園が調和する整備 歴史を感じる良質な都市空間の形成
史跡の風致を高める植栽整備

運営、維持管理

史跡としての保存管理 史跡公園としての管理体制の整備
理解と愛着を生む市民の関わりづくり

整備の基本方針

内郭(史跡・岡崎公園) 歴史文化資産の価値を **まもる・高める・いやす**

外郭(総構え・城下町) 日本屈指の城郭規模を **見せる・つなぐ・いやす**

5 整備基本計画

(1) 地区区分の設定(ゾーニング)

ゾーニング名称	整備の方向性
内郭エリア	
内郭1ゾーン 【本丸・持仏堂曲輪・清海堀・風呂谷曲輪・坂谷曲輪(部分)】	- 史跡の価値を将来にわたり確実に保存する - 市史跡指定地を構成し、城郭中枢部である本丸を中心とした史跡の価値が良好に保存されているゾーン
内郭2ゾーン 【二の丸(部分)・三の丸(部分)・東曲輪・隠居曲輪・菅生曲輪(部分)・坂谷曲輪(部分)・龍城堀・総構え(部分)】	- 遺構を保全しつつ、歴史文化資産としての価値を顕在化する - 市史跡指定地を構成し、比較的往時の空間が残され、史跡の本質的価値が内在しているゾーン
内郭3ゾーン 【二の丸(部分)・三の丸(部分)・備前曲輪・浄瑠璃曲輪・菅生曲輪(部分)・北曲輪・稗田曲輪・白山曲輪】	- 岡崎城内郭の市街地へ回遊性を持たせる - 内郭のうち市史跡指定地の外側のゾーン
総構え(外郭)エリア	
総構えゾーン 【籠田総門、松葉総門、御馳走屋敷、総堀、菅生川等】	- 岡崎城総構えや東海道二十七曲りへ回遊性を持たせる - 外郭を構成する総構え内の城下町(武家屋敷・町家)ゾーン

